

令和2年度 事業報告書
令和2年4月1日 から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 子育てネットワーク・ピッコロ

【1】事業の成果

1. 子育て支援のために行う一時保育事業

- (1) コロナ禍での子育てと家事が母親に重くのしかかっていた状況の中、例年になく市外からの問い合わせが相次いだ。中でも産前・産後の不安や相談が目立った。また、依頼時は即日コーディネートを実施し支援者の協力のもと、発足時の基本方針に則り活動が遂行できたと実感している。
- (2) 介助員受託事業では、七小の対象児が体調不良のため学校を休むことが多く、当日キャンセルの場合に限り介助員に対する処遇について教育委員会と協議を迅速やかに改善することができ業務も良好であった。
- (3) 小規模保育室「ピッコロルーム」では、緊急時の連絡手段としてメーリングリストを作成し、テストメール、引き取り訓練時に避難訓練メールを配信し対策を講じることができた。

2. 子どもと大人のネットワーク作り事業

- (1) K-netでは感染予防対策を図りながら、できる範囲で事業を実施した。また、制限が多い中ではあったが、室内での手遊びや公園での外遊びではそれぞれ楽しい時間を共有することができた。
- (2) つどいの広場受託事業では、コロナ禍対策の助成金にてパソコンを購入し、リモートによるひろば(しゃべり場)の開催を2回実施したことで、新たな取り組みにチャレンジする機会と支援の充実を図ることができた。

3. 子育てをサポートする人材育成・研修事業

支援者を対象に、年2回のスキルアップ研修会を開催した。テーマは「家事援助のポイント」「ピッコロが学童クラブを実施する理由」とし、即実践に活かせる内容や次年度の新規事業となる学童クラブの意義を学んだ。

4. ファミリー・サポート・センター事業

- (1) ファミリー・サポートきよせでは、コロナ禍の課題を把握するため提供会員にアンケートを実施、その結果を踏まえ会員に寄り添いながら無理のない支援を呼びかけた。また安全チェックリストの活用にも十分努めた。
- (2) 女子医大・東京医大ファミリー・サポートでは、緊急事態宣言期間は、公共交通機関・タクシー使用は禁止したが活動は続けた。また、8月には新宿区ファミリーサポート・センターと情報交換を実施した。
- (3) DDユニットファミリーサポートでは、コロナ禍における子育て支援についてスキルアップを図り、安全に努め活動することができた。また、病児保育も継続して実施することができた。
- (4) 介護サポート・ピッコロでは、支援者向けスキルアップ研修を実施し利用者を尊重する大切さを学んだ。また、特別助成の採択によりコロナ禍でも安心して活動できるよう衛生用品を購入し支援者に提供できた。

5. 家庭訪問型子育て支援事業

- (1) 養育支援訪問事業では、多胎児対応は2人体制が認められ定着してきた。支援者同士で協力し合い利用者の育児負担の軽減に対し一助になっている。今年度は、新規で5名の支援者が誕生した。
- (2) ひとり親支援では、依頼時間が22時までのケース・月12回マックスの利用・複数の子どもの預かり時での支援者2人態勢・また、困難な状況が複合的に起きているようなケースも支援者の理解と協力のもと、滞ることなく支援ができた。
- (3) ホームビジター派遣事業では、「新型コロナウイルス感染症安全チェックリスト」を下に継続訪問を実施した。また、ビジター養成講座でも同様に感染予防に努める中、清瀬市で初めて男性ビジターが誕生した。

6. 子どもの育成を支援する事業

赤ちゃんのチカラプロジェクトでは、コロナ禍により例年通りの実施はできなかったが、次年度に向けて教育委員会との打合せの中で、基本的な基軸となる提案により形を変えて実施する方向を見出すことができた。

7. 本会の目的を達成する事業

ピッコロでは、コロナ禍において自主事業として「ピッコロ特別な支援」と称しSOSを発信する家庭にいち早く手を差し伸べた。また、支援物資の配布など起動力を発揮した。各事業の充実した継続および発展のために、日本財団・東京都の助成金事業・清瀬市子どもの見守り強化アクション事業を通じ、自団体の強味を活かした活動展開を図ることができた。

【2】事業の実施に関する事項

- (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
子育て支援のために行う一時保育事業	ピッコロの保育サービス事業(個人・団体)	依頼日 依頼時間	利用者宅/支援者宅 団体保育場所	延べ 1,700人	子育て中の大人と子ども 約3,440人	6,559
	小規模保育室	月～金 7:30～19:00	ピッコロルーム保育室	延べ 1,232人	子ども2,230人とその保護者 約1,939人	32,812
	介助員受託事業(要介助の小学生の学校生活の支援)	学校登校日	第七小学校	延べ 50人	被介助者2人とその親・兄弟2人	0
子どもと大人のネットワーク作り事業	k-net 子育てひろば	毎月第2金曜日及び 6・7・8・9・10月は2回 年間15回 10:00～14:00	清瀬市男女共同参画センター	延べ 110人	子育て中の大人と子ども 約 650人	1,400
	中里ひろば	年4回第3水曜日 10:00～12:00	中里地域市民センター	延べ 8人	子育て中の大人と子ども 約45人	
	リフレッシュ講座	年6回 10:00～12:00	消費生活センター 児童センター	延べ 90人	子育て中の大人と子ども 約80人	
	ジュニアサポーター養成講座	8月20日9:30～10:30 8月20日10:30～12:00 8月21日10:30～12:00	k-netひろば	延べ 18人	小中高生 9人	
	子育てサポータースキルアップ講座	3月8日	ころぼっくる子ども会議室	延べ 5人	子育て支援者 14人	
	清瀬市つどいのひろば受託事業	毎週6日 10:00～15:00	けやきホール子育て支援室 及び竹丘地域センター	延べ 1,160人	子育て中の大人と子ども 約 9,700人	
子育てをサポートする人材育成研修事業	訪問保育支援者研修会	8月24日 2月13日	けやきホールセミナーハウス けやきホールセミナーハウス	延べ 6人	支援者 55人	32

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
ファミリーサポート・センター事業	ファミリーサポートセンター受託事業	依頼日7:00～22:00のうち依頼時間	利用者宅 支援者宅	延べ 2,499人	子育て中の大人と子ども 約6,000人	15,517
	家族まるごと支援事業・介護サポート	依頼日 8月24日	利用者宅 けやきホールセミナーハウス	延べ 13人	依頼会員と提供会員 約332人	324
	東京医大女性研究者支援事業・東京女子医大ファミリーサポート連携プログラム事業(文部科学省人材育成費補助事業として、両大学の子育て中の女性職員への子育て支援)	依頼日 7:00～22:00のうち依頼時間	利用者宅	延べ 2,010人	子育て中の大人と子ども 約5,500人	8,481
	DDユニットファミリーサポート事業東京医科歯科大学・順天堂大学・(株)ニッピバイオマトリックス研究所に在籍する女性研究者を対象に仕事と家庭の両立するための子育て支援	依頼日 7:00～22:00のうち依頼時間	利用者宅	延べ 460人	子育て中の大人と子ども 約2,148人	7,538
家庭訪問型子育て支援事業	養育支援ヘルパー受託事業	依頼日 依頼時間	利用者宅	延べ 276人	育児支援申込者大人と子ども 約800人	174
	ひとり親家庭ホームヘルプサービス受託事業	依頼日 依頼時間	利用者宅	延べ 954人	ひとり親家庭申込者大人と子ども 約2,400人	1,734
	清瀬市ホームビジター派遣事業(支援者が訪問し、保護者と共にボランティアで子育てを支援する)	依頼日 依頼時間	利用者宅	延べ 259人	子育て中の大人と子ども 約520人	2,200
子どもの成育を支援する事業	清瀬市教育委員会委託事業「赤ちゃんのチカラプロジェクト」事業(中学3年生の授業に出向き赤ちゃんに触れあい命の大切さを学ぶ)	中止	清瀬市内中学校5校19学級	延べ 2人	中学生及び子育て中の大人と子ども 0人	0
本会の目的を達成する事業	子供が輝く東京・応援事業(訪問型子育て支援ヒヤリ・ハット検証と実践ツール作成)	10月1日～3月31日 依頼日	清瀬市内・近隣市利用者宅 公共施設	延べ 100人	妊娠・出産・育児期親子支援者・専門家 約50人	1,807
	日本財団助成事業(新型コロナウイルス感染症に伴う社会活動支援)	10月20日～3月31日 依頼日	清瀬市・近隣市利用者宅 オンライン	延べ 16人	ウェブサイトからの申込み親子 問い合わせ家庭 約20人	746
	「清瀬市子どもの見守り強化アクションプラン」事業(食事提供・学習、生活支援をする)	6月1日～3月31日 依頼日	清瀬市内利用者宅 公共施設	延べ 60人	緊急的に見守り支援が必要な家庭 約140人	4,209
2. その他の事業						
なし						